

## イースター劇の台本紹介

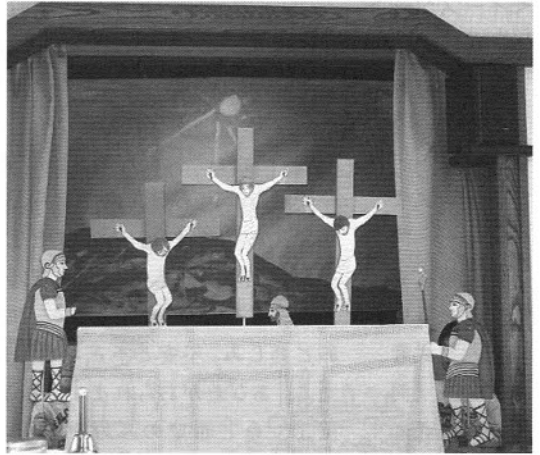
(米子伝道所日曜学校)

イースターには日曜学校でどのような催しをされているでしょうか。イースター・エッグ探しをするくらいだという日曜学校が多いかもしれません。ここにご紹介するのは、米子伝道所で昨年、イースターの前に行った「春のこどもかい」で演じた受難・復活劇の台本です。

背景は「まき絵」といって、各場面を連続的に描いて巻物にしたものを、場面に応じて繰り出しながら、見せます。人物はペープサート(手の部分が少し動くように作ってあります)で、子どもたちが操ります。セリフはあらかじめ子どもたちの声を録音しておき、その場ではスピーカーから流します。適宜、音楽も一緒に録音しておきます。舞台はリード・オルガンを用いました(ペープサートを扱うのにちょうどよい高さで幅だからです)。小道具(最後の晩餐のテーブルなど)はダンボールで制作して、舞台(オルガン)の上に載せました。



劇に参加した子どもたち



十字架の場面

なお、「春のこどもかい」には、ゲームやイースター・エッグの絵付けも行いました。



ゲームの様子



イースター・エッグの絵付け

# まき絵しばい「イエスさまの十字架と復活」

## 登場人物

ナレーター、イエス（着衣、裸）、ペトロ、弟子たち1, 2、人々1, 2、商人1, 2、ユダ、祭司長、律法学者、長老、兵士1, 2、ピラト、ヨセフ、天使、女1, 2、ろば、群衆1, 2

(音楽)

ナレーター ただいまから、「イエスさまの十字架と復活」の物語を見ていただきます。

## 場面 1 エルサレムへ行く

- エルサレムに向かう道。イエスさまと弟子たち（左向き）。
- 中央に、エルサレムの城門（神殿の門を兼ねる）。人々。

(イエスと弟子たち右から左へ)

ナレーター イエスさまは、三十歳さいくらいになって、故郷こきょうを出て、国中くにじゅうを歩いて、神さまのお話をしてまわられました。病気びょうきの人を癒いやし、貧しい人まいずや苦しんでいる人たちのところへ行って、なぐさめられました。でも、国の偉い人たちは、イエスさまの人気にんきをねたんで、殺そうころとしていました。イエスさまは、そのことをよく知りながら、神殿しんでんのあるエルサレムの町まちに向かってむかわれました。

ナレーター イエスさまと弟子でしたちはエルサレムに着つきました。イエスさまのうわさを聞いた大勢おおぜいの人たちは、しゅろの枝えだをふって、喜んでお迎えむかえました。

(人々がイエスさまたちを迎える)

人々1 ダビデの子しよにホサナ、主なの名なによって来こられる方かたに祝福しゅくふくがあるように。

人々2 いと高たかきところにホサナ。

## 場面 2 神殿で

- 神殿の境内。神殿の建物。
- (小道具) 商売の台。
- 商人たち。大勢の人々

(商売の台を置く)(イエスろばをおりる)

ナレーター ところが、礼拝らいはいをしようと神殿しんでんの境内けいだいに入はいられると、商売しょうばいをしている人たちがいっぱいいました。イエスさまはお怒りいかになって、台だいをひっくり返かえして、商売しょうばいをしていた人たちを追い出おされました。

イエス わたしいえの家いえは、祈いのの家いえと呼ばよばれるはずなのに、あなたたがたはそれをどろぼうすの巣すにしている。

ナレーター そして、イエス様さまは、神殿しんでんにき来ていた目めの見みえない人あしや、足あしの不自由ふじゆうな人あしたちを癒いやしてあげました。(幕まくをしめる)

### 場面 3 過越の食事

- 過越の食事の部屋
- (小道具) テーブル (パン、杯)、たらい
- イエス、ペトロ、弟子たち

(音楽)

ナレーター エルサレムでは、もうすぐ「過越の祭」という大きなお祭が始まります。  
イエス様は弟子たちに命じて、過越の食事の用意をさせました。

(右よりイエス、ペトロ、弟子たち出る)

イエスの席に着くと、イエス様は腰のまわりに手ぬぐいを巻きつけ、たらいに水をくんで、弟子たちの足を洗い、手ぬぐいでふき始められました。

(イエスしゃがむ)

ペトロ 主よ、なぜ、こんなことをなさるのですか。

イエス 後で、わかるようになる。わたしは、お手本を見せたのです。あなたがたも、たがいに足を洗いあいなさい。

(イエス、立ち上がってパンをとる)

ナレーター 食事が始まると、イエス様はパンを取って、お祈りをしてから、弟子たちに分けておっしゃいました。

イエス 食べなさい。これは、わたしの体です。(杯をとる)

ナレーター また、ぶどう酒の杯を取って、お祈りをしてから、弟子たちに渡して、おっしゃいました。

イエス 飲みなさい。これは、罪がゆるされるように、みんなのために流す、わたしの血です。

ナレーター 弟子たちは何のことだか、わかりませんでした。

イエス わたしは、あなたがたに、新しい戒めを与えます。わたしが、あなたがたを愛したように、あなたがたも、たがいに愛しあいなさい。あなたがたは、心をさわがせてはいけません。神を信じ、また、わたしを信じなさい。

### 場面 4 ゲツセマネの園で

- ゲツセマネの園
- 祈るイエス、眠る弟子たち
- ユダ、兵士、剣や棒を持った群衆

(イエスを先頭に弟子たち続く)

ナレーター 讃美歌を歌ったあと、みんなは町を出て、ゲツセマネの園へ行きました。  
イエスさまは弟子たちから少し離れて、一人でお祈りをしておられました。

(イエスしゃがむ。後に弟子たち)

イエス 天のお父さま、みこころならば、みんながわたしを十字架にかけないでもすむようにしてください。

ナレーター イエスさまのお顔からは汗が血の滴りのように流れました。

イエス でも、わたしの思いではなく、神さまのみこころのとおり、してください。(弟子たち倒れて眠る)

ナレーター イエスさまが、こんなに苦しいお祈りをなさっておられるのに、弟子たちはみな、いねむりをしていました。

ナレーター お祈りが終わって、イエスさまが弟子たちのところに来られたとき、偉い人たちから遣わされた大勢の群衆が、剣や棒を持って、裏切り者のユダを先頭にやって来ました。ユダは、イエスさまがいつもお祈りされる場所を知っていたからです。

(ユダを先頭に兵士、群衆が登場)

ユダの合図で、イエスさまは逮捕されました。(弟子たち下る)

そのとき、弟子たちはみな、イエスさまを見捨てて逃げてしまいました。

## 場面 5 裁判 (大祭司による)

- 大祭司の屋敷 (最高法院)
- イエス、大祭司、祭司長、最高法院の議員たち、ペトロ

(兵士たちイエスをつれて登場)

ナレーター イエスさまは大祭司のところに連れて行かれました。そこには、偉い人たちが集まっていました。ペトロは後からついて来て、どうなるだろうと、大祭司の家の中庭まで入って来ました。

(ペトロ端の方に登場) (祭司長、律法学者たち登場)

家の中では、偉い人たちがイエスさまを死刑にするために、たくさんの人たちに証言させましたが、何も悪いことが見つかりません。

祭司長 とにかく、イエスを死刑にしまおう。

ナレーター 次の朝、祭司長たちはイエスさまをローマ総督ピラトのところに連れて来て、引き渡しました。

## 場面 6 裁判 (ピラトによる)

- ピラトの館、刑場への道 (町の中)
- イエス (服を脱ぐ前と裸になってから)
- ピラト、群衆、兵士

(ピラト、群衆、連れられてきたイエス)

祭司長 この男は、国中の人々をまどわしています。

ピラト イエスは何をしたのだ。<sup>なに</sup> <sup>なに</sup> <sup>わる</sup> 何も悪いことをしていないではないか。むちで打<sup>う</sup>って、ゆるしてやろう。

人々 (1) イエスを十字架<sup>じゅうじか</sup>につけろ。

人々 (2) イエスを十字架<sup>じゅうじか</sup>につけろ。

ナレーター 祭司長<sup>さいしちょう</sup>にそそのかされた人々は、<sup>ひとびと</sup> <sup>おおこえ</sup> <sup>さけ</sup> <sup>つづ</sup> 大声で叫び続<sup>つづ</sup>けましたので、ピラトはお祭<sup>まつり</sup>の間に大騒<sup>おおさわ</sup>ぎが起<sup>お</sup>こっては<sup>たいへん</sup> 大変だと、イエスさまに死刑<sup>しけい</sup>を言<sup>い</sup>い渡<sup>わた</sup>しました。兵士<sup>へいし</sup>たちは、イエスさまの服<sup>ふく</sup>を脱<sup>ぬ</sup>がせ、茨<sup>いばら</sup>の冠<sup>かんむり</sup>を頭<sup>あたま</sup>にかぶせ、なぐったり、つばをかけたりして、死刑場<sup>しけいじょう</sup>に引<sup>ひ</sup>張<sup>ば</sup>って行<sup>い</sup>きました。

(ピラト、祭司長、下る)

(幕をしめる)

## 場面 7 ゴルゴダの丘

- ゴルゴダの丘
- イエスの十字架、イエス、二本の十字架 (罪人付き)
- 見上げる兵士、群衆
- ヨセフ

(音 楽)

ナレーター ゴルゴダの丘<sup>おか</sup>の上<sup>うへ</sup>に、三本<sup>さんほん</sup>の十字架<sup>じゅうじか</sup>が立<sup>た</sup>てられました。真<sup>ま</sup>ん中<sup>なか</sup>の十字<sup>じゅうじ</sup>架<sup>か</sup>にはイエスさま、左<sup>さ</sup>右<sup>みぎ</sup>の十字架<sup>じゅうじか</sup>には悪<sup>わる</sup>いことをした人<sup>ひと</sup>が架<sup>か</sup>けられました。イエスさまは御<sup>ご</sup>自分<sup>じぶん</sup>を十字架<sup>じゅうじか</sup>に架<sup>か</sup>けた人<sup>ひと</sup>たちのために祈<sup>いの</sup>られました。

イエス 天<sup>てん</sup>のお父<sup>とう</sup>さま、この人<sup>ひと</sup>たちをゆるしてください。自分<sup>じぶん</sup>がなにをしているのか、わからないのです。

ナレーター イエスさまを愛<sup>あい</sup>する人<sup>ひと</sup>たちが、遠<sup>とお</sup>くから十字架<sup>じゅうじか</sup>を見て、泣<sup>な</sup>いていました。

イエス わたしのたましいを御<sup>みて</sup>手にゆだねます。

ナレーター イエスさまは昼<sup>ひる</sup>の三<sup>さん</sup>時<sup>じ</sup>ごろ、十字架<sup>じゅうじか</sup>の上<sup>うへ</sup>で息<sup>いき</sup>を引<sup>ひ</sup>き取<sup>と</sup>られました。

ヨセフ わたしに、イエスさまのお体<sup>からだ</sup>を引<sup>ひ</sup>き取<sup>と</sup>らせてください。わたしの墓<sup>はか</sup>におさめたいのです。

(背景が墓の場面に移る)

ナレーター ヨセフはイエスさまを引<sup>ひ</sup>き取<sup>と</sup>り、きれいな亜麻布<sup>あまぬの</sup>で体<sup>からだ</sup>を包<sup>つつ</sup>んで、岩<sup>いわ</sup>を切<sup>き</sup>って作<sup>つく</sup>った新<sup>あた</sup>しいお墓<sup>はか</sup>におさめました。ヨセフは大き<sup>おお</sup>な石<sup>いし</sup>でお墓<sup>はか</sup>の入<sup>い</sup>り口<sup>ぐち</sup>をふさぎました。女<sup>おんな</sup>の人<sup>ひと</sup>たちは、それを見ていました。

(女たち、ヨセフ下る)

## 場面 8 復活 (墓で)

- 墓 (朝の空)
- 女たち、天使、甦りのイエス

(女たち右手から墓の前へ)

ナレーター イエスさまが十字架<sup>じゅうじか</sup>に架<sup>か</sup>けられてから三日<sup>みっか</sup>目の朝<sup>め</sup>早く、女<sup>おんな</sup>の人<sup>ひと</sup>たちは、

急いでお墓に向かいました。前の日は安息日で、何もしてはいけなかったからです。女の人たちは、イエス様のお体に、いいにおいの油をぬってあげようと思っていました。

女1 だれが、お墓の入口の大きな石をころがしてくれるでしょうか。

ナレーター ところが、行ってみると、大きな石は退けてあって、お墓の入口は、開いているではありませんか。

のぞいてみると、イエスさまのお体がありません。真っ白い衣を着た天使が現れて言いました。(天使が登場)

天使 イエスさまは、ここにはおられません。イエスさまはよみがえられたのです。

ナレーター 女の人たちは恐ろしくなり、急いでお弟子さんたちのところに知らせに行こうとしました。(イエス登場)

そのとき、女の人たちの前にイエス様が立っておられました。

イエス おはよう！恐れることはない。

ナレーター 女の人たちは、喜んでイエスさまの足元にひれ伏しました。

女の人たちは、このことを弟子たちに知らせましたが、だれも信じませんでした。

## 場面 9 復活 (家の中で)

●家の中

●女の人たち、弟子たち、甦りのイエス

ナレーター その日の夕方、弟子たちは人々を恐れて、家の戸の鍵を締めて集まっていたところに、イエスさまが入って来られました。

イエス あなたがたに平和があるように。わたしの手や足を見てごらん。さわってごらん。前にも話したとおり、聖書には、キリストは苦しみを受け、三日目によみがえると書いてあるではないか。わたしを信じなさい。わたしはいつもあなたがたと共にいる。

ナレーター こうして、弟子たちは、大喜びで、イエスさまのことを、世界中の人々に伝えました。

(幕が閉まる)

(音楽)